

令和3（2021）年度 学校評価報告書

豊能町立東能勢小学校

【本文中の%数値について】

◇各項目の本年度と昨年度、一昨年度の「とてもそう思う」と「だいたいそう思う」の合計である。

◇保護者集計は()に、児童集計は<>に、教職員集計は《》に入れた。いずれも(本年度、昨年度、一昨年度)の順とした。

学校評価Ⅰ

<p>① 設定目標 【ねらい】</p>	<p>自尊感情を高め合う集団を育成する。 【情報を伝える。説明する。考えや思いを聞く。】 ◎教育の方針や活動状況を児童・保護者・地域の人々に適切に伝える。 ◎児童・保護者・地域の人々の願いや思いを受け止め、教育活動に反映させる。</p>
<p>② 本年度の 取り組み</p>	<p>○学校教育自己診断による自己評価の実施 ○学校協議会による学校評価の実施 ○学校だより、保健だより、学級通信、図書だより ○よくわかる！東能勢小学校の配布 ○参観授業 ○入学説明会 ○海洋学習、修学旅行説明会 ○家庭訪問 ○学級懇談会 ○個人懇談 ○作品展 ○PTA 研修会 ○HP の運営 ○学校支援コーディネーターとの協働 ○PTA との協働 ○学校だよりの各自治会への配布 ○いじめ防止に向けた研修会 ○児童面談</p>
<p>③ 学校教育自己診断・授業評価等定量的評価及び定性的自己評価内容</p>	<p>◇関係するアンケート項目は、以下の3項目である。 (1)学校は、教育方針や指導の様子を分かりやすく伝えている。 (70%, 76%, 74%,) <—%, —%, —%> 《94%, 90%, 78%》 (4)学校は、保護者や地域の人たちと協力して教育活動を進めようとしている。 (80%, 83%, 80%) <91%, 86%, 91%> 《100%, 84%, 64%》 (10)学校は、子どものことで困った時、相談にのろうとしている。 (72%, 67%, 78%) <82%, 76%, 79%> 《100%, 100%, 93%》 (14)子どもは、自分のよいところに気づいている。 (65%, 62%, 51%) <65%, 59%, 45%> 《—%, —%, —%》</p> <p>年度当初に職員全員で学校教育目標や方針を具体的な構想図をもとに共通確認し、教職員が一丸となり教育活動に取り組むことを心がけた。コロナ禍ではあったが、本年度も、環境整備作業、登下校時の見守りなど、学校の教育活動において、保護者の方や地域の方のお力を借りることができた。また、保護者・地域・学校が連携を図り、東地区の特色を生かした教育活動を活発に進めてきたことで、子どもの自尊感情が高まってきていると実感している。更に、通信やホームページ等を活用し、児童の活動状況や様子、ご協力くださっている方々の情報を積極的に発信していきたい。</p> <p>(10)の項目において評価があがっている。本年度は個人児童面談も実施。児童一人一人と向き合うことを大切にして信頼関係を築いていくことを意識してきたことを評価いただいていると感じている。そして、保護者が不安感を抱かぬよう、日ごろからの各家庭への連絡を大切に、丁寧な対応を心がけて保護者との信頼関係を更に築いていきたい。</p>

④
学校関係者
評価(学校協
議会等からの
提言)

教職員はコロナ禍の中でむずかしい対応を迫られているが、保護者のアンケート結果を見ても、楽しく学校に通っているという意見が多いことがまず嬉しく、この東地区の特性を生かした取り組みが実践され、それが保護者にも伝わっており素晴らしいことだと思う。

課題としては、

令和4年度からの四年間、小学生が2校に分かれて過ごすことから、学校・保護者・地域の密接な関わりが、より一層必要と思われる。そのためにも、教育指導の内容や運営についての発信はこれまで以上に分かりやすい方法をとっていただきたい。

保護者のアンケート結果では、家庭への発信について意見が出ている。学校からは、ご家庭や地域への発信を積極的に行いたいということであるが、昨年とかわらない状況であった。教職員のアンケートで学校ホームページの更新があまりされないことが気になるという意見があり、また、中学校では開校準備委員会にホームページ更新を手伝ってもらえないかという発言もあった。忙しい教職員によるこれまで通りの方法で情報公開の改善は可能なのか。外部からの援助の方法を考慮してみてはどうであろうか。

保護者一人ひとりに向き合おうという努力はとても素晴らしく、保護者との信頼関係を築くことは子どもたちの成長にも大きく影響すると思われる。一方、世の中が多様化し、様々なアクシデントやトラブルが起こる昨今、少ない人数の教職員でそのすべてに対応していけるのか心配な点がある。もっと、学習面以外をフォローしていただけるような人員増強が望まれる。

児童一人ずつの面談を行われこともよかったと思う。児童が話したい先生に気持ちを伝える等、心の内をより打ち明けやすい機会が持てるとより良い試みになると思う。

保護者のアンケート結果で、安全面について肯定的意見が少ないのが気になる。

課題が感染症への対応か登下校の不安、あるいは天候不順時やそれ以外なのかが具体的にわかると改善点が見つけられると思う。

学校評価Ⅱ

<p>① 設定目標 【ねらい】</p>	<p>自尊感情を高め合う集団を育成する。 【仲間をつなぐ。集団を育てる。地域連携を深める。】 ◎思いを仲間と共有する。お互いのよさを認め合う。集団・社会のルールを大切にする児童を育てる。 ◎人権教育をすべての教育活動の基盤において取り組む。 ◎地域の方との交流を大切にし、豊かな文化の育成をめざす。 ◎義務教育9年間の子どもの育ちを見守り、支援する。</p>
<p>② 本年度の 取り組み</p>	<p>○縦割り清掃 ○学級・班遊び ◆朝レク(◆は再掲) ◆社会見学 ◆作品展 ◆運動会(分散) ◆海洋学習 ◆修学旅行 ◆たてわりなかよしタイム ○わくわくKID'S ○ミニ遊びの出店(1,2年) ○地域探検 ○米作り ○昔遊び ○平和を考える会 ○専門部・クラブ活動 ○園小交流会 ○小中合同研修会 ○分散人権参観 ○中学校給食・授業・クラブ体験 ○地域施設との交流 ◆学校だより ◆学級通信の発行 ○生活・いじめ・体罰アンケートの実施 ○地域の方からの聞き取り</p>
<p>③ 学校教育自 己診断・授業 評価等定量 的評価及び 定性的自己 評価内容</p>	<p>◇関係するアンケート項目は、以下の5項目である。 (2)子どもは、楽しく学校生活を送っている。 (92%, 85%, 87%) < 86%, 75%, 75% > ≪ 100%, 85%, 50% ≫ (3)学校は、児童が協力し合って取り組む機会を持ち、「つながり」を育んでいる。 (91%, 81%, 84%) < 85%, 81%, 85% > ≪ 100%, 84%, 64% ≫ (5)学校は、こども園や中学校との連携を効果的に進めようとしている。 (78%, 75%, 78%) < 1%, 1%, 1% > ≪ 61%, 48%, 57% ≫ (11)学校は、いじめのない仲間づくりに取り組んでいる。 (70%, 59%, 66%) < 93%, 84%, 83% > ≪ 100%, 95%, 64% ≫ (13)子どもたちは、あいさつしたり感謝の気持ちを伝えたりしている。 (74%, 76%, 62%) < 77%, 78%, 81% > ≪ 83%, 84%, 78% ≫</p> <p>(2)(3)に関してはそれぞれの学年の取り組みの成果が出ていると考える。今年度からスタートした人権総合学習では、地域教材を使いそれぞれの学年で活発な取り組みが行われた。また、子ども一人ひとりにしっかりと目を向け「つながり」を大切にする集団づくりの重要性について教職員間で確認されそれぞれ実践が行われたことも結果につながっていると考える。</p> <p>(5)については来年度から5・6年生が中学校へ行く事もあり、児童生徒会共同の企画などを進めている。また、ふたば園や中学校と共に研修するなど教員間の交流も行っている。</p> <p>(11)に関してはスクリーニングシートや「子どものサインを見逃さない」(チェックシート)、児童面談などたくさんの先生の中で子どもの様子を見取り、早期発見に努めている。また、いじめが起こらないクラス集団をつくるための集団づくり実践を活発に行っている。</p> <p>(13)今年度はコロナ禍であり、外部の人と関わる機会がたくさん減っている。学年によってはお世話になった方々に「ありがとう」を伝える『ありがとう会』を企画している。コロナ禍においてもこの様な取り組みを今後も進め、挨拶や感謝の言葉があふれる学校へとしていきたい。</p>
<p>④ 学校関係者 評価(学校協 議会等からの 提言)</p>	<p>小さな小学校・少人数クラスの特徴を生かし、生涯の友人を作れる環境を！ 1学期に見させていただいた授業参観に比べ、2学期は子どもたちがずいぶん落ち着いているように見えた。学校へ訪れた際には、子どもたちはきちんと挨拶をされていてとても良いことだと思った。 学年ごとの取り組みに加え、スクリーニングシートの活用、先生方の細かい見取りなどが良い結果となって表れていると感じられた。今後も仲間を繋ぐ集団作りの発展を期待している。</p>

学校評価Ⅲ

<p>① 設定目標 【ねらい】</p>	<p>自尊感情を高め合う集団を育成する。 【学習を組織する。意欲を育てる。】 ◎学力の向上をめざし、学習における基礎・基本の定着をはかる。 ◎教育課程の実施状況に関する自己評価に関わる研究を進める。</p>
<p>② 本年度の 取り組み</p>	<p>○ティーム・ティーチングでの授業 ○少人数分割授業 ○習熟度別授業 ○自学自習の取り組み ○個別学習 ○朝読書活動 ○読書感想文コンクール ○家読の推進 ○モジュール学習（朝国語、朝算数）○どんぐり問題 ○修学旅行 ○各種社会見学 ○芸術鑑賞会 ○おととえ座公演 ○科学実験教室 ○おはなしの会「ひまわり」 ○地域学習 ○全国学習・学力状況調査 ○大阪府すくすくウォッチ ○授業スタグ・ド（学習ルール）の統一 ○授業改善に向けた校内研修 ○校内研究授業 ○校外での研修・研究活動への参加 ○町教委の学校訪問 ○校長・教頭による授業評価と指導</p>
<p>③ 学校教育自己診断・授業評価等定量的評価及び定性的自己評価内容</p>	<p>◇関係するアンケート項目は、以下の3項目である。 (7)学校は、子どもたちの学力を高めるためにしっかり取り組んでいる。 (55%, 60%, 59%) <—%, —%, —%> ≪82%, 89%, 64%≫ (*算数の授業は、よくわかる。 <84%, 80%, 83%> (*国語の授業は、よくわかる。 <85%, 84%, 86%> (9)通知表の評価や記録は、適切でわかりやすい。 (62%, 73%, 77%) <83%, 84%, 83%> ≪94%, 84%, 71%≫ (12)学校は、学習や生活のきまりをしっかり指導している。 (81%, 77%, 75%) <91%, 89%, 91%> ≪72%, 79%, 64%≫</p> <p>(7)の項目において、保護者の学力の向上に対する回答結果から、通信や学級懇談会などの機会など直接的な学力向上の取り組みだけでなく学校が学習に向かう意欲を育む取り組みを重視していることなど、学校と保護者が共通意識の元、家庭と連携しながら児童の学力向上を推進していきたいと考える。今年度は「主体的に学ぶ姿勢を育む授業の実践」というテーマの元、各教科の学習を横断的に学べるカリキュラムマネジメントを行った。具体的な学習活動や学習形態・学習環境を考え、地域の豊かな人材にご協力頂き、様々な体験学習を実施し学びに向かう意欲の向上を図った。2学期から朝学習の時間に毎週取り組んだ「どんぐり問題」では、子ども達の思考力の育成と、問題に向かう意欲の向上を目指している。子ども達を励まし、今後も継続して実施していく。また、休み時間や隙間の時間には個別の課題に応じて指導してきたが、算数科の(数・計算領域)における到達度テストを実施・分析し学力向上につなげていきたい。児童の授業の理解度を図る項目では、国語・算数共に概ね肯定的な意見ではあるが、さらなる向上を目指し、授業改善を行う。</p> <p>(9)の項目においては、新学習指導要領の実施に伴い、単元ごとの内容評価から観点別の評価となった。新しい学力観に対する評価の基準が分かりやすいものとなるよう工夫をしていきたい。</p> <p>(12)の項目においては、概ね肯定的な回答が多いが、学力向上の土台であるため保護者との共有に努めたい。</p>
<p>④ 学校関係者評価(学校協議会等からの提言)</p>	<p>コロナ禍の中、公開授業や課題への認識の共有など、学校側の授業に対する創意工夫が感じられ、引き続きお願いしたい。</p> <p>せっかくの学校側の取り組みをご家庭でも実践することでより生きてくるように思われる。地域学習などで保護者の参加を呼びかけることも考えたいが、コロナ禍もあり実現できなかった。今後の学校運営協議会を中心に地域の方々との連携を取ってはどうか。</p> <p>家庭での学習時間が短いことや読書量の減少は、少し心配である。教育改革で、ますます文章を読み解く力が問われることになるので、ご家庭での配慮をお願いしたい。</p> <p>保護者からは、新しい成績評価は結果のみの判定が大きく、子どもたちのがんばりの過程を評価してほしいとの意見があるようだ。今後も評価についての説明機会を繰り返し持たれたい。</p>

学校評価Ⅳ

<p>① 設定目標 【ねらい】</p>	<p>自尊感情を高め合う集団を育成する。 【心身の健康を増進させる。】 ◎心身の健康・食・安全について考え、スポーツを楽しむ児童を育成する。 ◎命や体を大切に、生活の向上をめざす児童を育てる。</p>
<p>② 本年度の 取り組み</p>	<p>○朝レク ○運動会(分散) ○ペースランニング記録会 ○町体力テスト「とよのチャレンジ」 ○非行防止教室 ○たてわりなかよしタイム ○歯科衛生士によるフッ素指導 ○海洋学習 ○栄養教諭による食育授業 ○見守り活動 ○避難訓練(不審者、火災、地震) ○防災マニュアルの見直し ○校内安全点検 ○登下校メール配信、緊急メールの運営</p>
<p>③ 学校教育自 己診断・授業 評価等定量 的評価及び 定性的自己 評価内容</p>	<p>◇関係するアンケート項目は、以下の2項目である。 (6)学校は、子どもたちの安全確保に努めようとしている。 (65%, 68%, 81%) <90%, 88%, 92%> ≪100%, 95%, 85%≫ (8)学校は、子どもたちの体力を高めるために取り組んでいる。 (62%, 71%, 66%) <79%, 77%, 83%> ≪83%, 61%, 57%≫</p> <p>(6)の項目について、前年度、感染症について教材「新型コロナウイルスの3つの顔を知ろう!」【日本赤十字社】などを使い、児童の発達段階に配慮しながら取り組みを進めた。今年度、状況が変化していく中でも、この学習を振り返りながら継続して行った。 登校班の在り方については、昨年度に引き続きPTAと協議し、保護者主導で組織する方向にある。今後ともPTA、スクールサポーター等地域の方々との情報共有していきたい。 昨年度行うことができなかった、ピックアップ訓練を実施することができ、感染症予防対策を行いながら取り組んだ。 (8)の項目について、今年度も感染症の影響で行事を制限せざるを得ない状況があった。その中で、分散して行った「運動会」や「ペースランニング記録会」「リレー大会」などの取り組みを創意工夫することができた。今後も計画的、継続的な体力向上を目指していきたい。また、体力テストの結果をうけて、体育の授業での「帯トレニング」について職員研修を行い、学校全体で取り組む事項として共有することができた。</p>
<p>④ 学校関係者 評価(学校協 議会等からの 提言)</p>	<p>テレビの視聴時間の問いについては、最近ではスマホ・タブレット等の利用が増えてきていることを踏まえ、視聴・操作時間の確認アンケートを改めて行ってみてはどうか?できることなら、日常使用しているスマホなどの機器を持参して、危険が及ばない使い方を説明することが望ましい。 体力の低下については、体育の内容が最も感染症の影響を受けていると考えられる。特に水泳授業が2年連続で無くなったことや、マスク着用での体育の難しさがあったと思う。先生方も工夫を凝らした授業をされており、体力の減退はこの学校だけに限らないとは思いますが、体づくりの大事な時期だけに残念。</p>